

エリック・ウォランスキー教授 (Prof. Eric Wolanski)

国際エメックスセンター科学政策委員、ジェームスック大学教授 (オーストラリア)

ECSA53 (中国・上海) 参加報告

ECSA (河口域・沿岸科学学会) 第 53 回国際シンポジウム (ECSA53) が 2013 年 10 月 13 日～17 日、中国・上海で開催されました。国際エメックスセンター (以下、EMECS) はこの会議スポンサーとなっています。会議のウェブサイトやプログラム、アナウンスメントには EMECS のロゴマークがいたるところに掲載され、EMECS の貢献を示すものとなっていました。また、この会議は ECSA、LOICZ (沿岸域における陸域-海域相互作用研究計画)、EMECS に関係する科学者達が交流を図る機会となりました。このような交流のネットワークはますます発展してきており、EMECS にとっても重要なものとなっています。

この会議には、EMECS から科学政策委員の古川恵太氏 (海洋政策研究財団)、陳中原氏 (華東師範大学教授・中国)、松田治氏 (広島大学名誉教授) と私が参加しました。古川氏は基調講演として東京湾の生態系再生に関し何を目標とし何がバックグラウンド情報となるのかについて話し、松田氏は里海コンセプトをベースにした沿岸域干潟の再生について講演を行いました。また、私は河口域の生物個体数の増加と沿岸域漁業のモデリングについて基調講演を行い、陳氏は長江北支流の河口域における塩分や堆積物などの物質流入について、自然流下による説明とそのインプリケーションに関し講演を行いました。

陳氏と私が議長を務めた EMECS セッションにおいては、気候変動状況下での持続可能性をテーマに取り上げ、膠州湾 (中国)、渤海湾 (中国)、リムフィヨルド (デンマーク)、バルト海、ヴァヴート湾 (ニューカレドニア) の事例について、参加者による活発な意見交換が行われました。

また、最も優秀な学生のポスター発表と口頭発表に対し、EMECS 学生賞が授与されました。ポスター発表では HIRAK R. DASH 氏 (国立工科大学・インド) が、口頭発表では土屋健司氏 (創価大学・日本)、Hao Xu 氏 (華東師範大学・中国) の 2 名が受賞しました。受賞者の名前が読み上げられ、約 300 名の参加者の前で表彰される時の彼らは誇りと喜びに満ちあふれていました。

